

題材名 「クリーン作戦で快適に」 (第6学年 B 衣食住の生活)

■本事例のポイント

- 「実際に掃除をする」という目的意識をもって計画を立てられるようにすることで、自分事としてより深く考えられるようにした。
- 子供が考えを共有し合いながら活動できる環境を整えることで、学習調整を促し、深い学びの実現を目指した。

■題材の目標

- 住まいの清掃の仕方を理解するとともに、適切にできる。
- 住まいの清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

■題材の指導計画（4時間）

第1時

「汚れの種類や原因を調べよう」

- 住まいの清掃の必要性に気付き、清掃の仕方にについて問題を見いだし、課題を設定する。
- 場所ごとの汚れの種類や特徴を調べる。

第2時

「汚れに合った掃除をしよう」

- 汚れやごみの種類、その場所に合った清掃の仕方と用具を考えて計画を立てる。

第3時

「計画にしたがって実際に掃除をしよう」

- クリーン作戦に沿って、清掃をする。

第4時

「身の回りを快適にしよう」

- 一連の活動を振り返り、これからの住生活について考える。

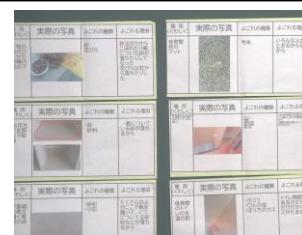
■本時の概要

写真を撮影した場所で実際に掃除をするしたら…?



めあて：よごれに合った掃除の仕方を考えよう。(クリーン作戦)

前時に撮影した汚れている場所を写真で振り返る。



実際に自分が清掃をしたい場所を選び、思考ツールを使って計画を立てる。



友達と考えを共有し、修正・変更があつたら赤字にし再度提出する。(理由を明らかに)



修正・変更の理由を明らかにし、次回、作戦を実行することを確認する。



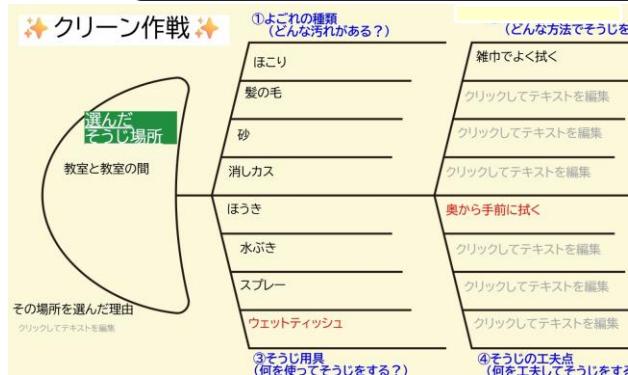
■学習調整をしている子供の姿



自分と同じ考えの人はいるのかなあ？
友達の考えを参考にしたいから見てみよう！



友達と交流し、他の視点に気付いたので、
付け足しをしました！



■指導と評価の工夫

①思考ツール「フィッシュボーン」を使い、4つの視点に沿って考える

- * 多面的に考えを整理できる。
 - * それぞれの視点に沿って考えを整理できる。



評価 (Aと判断する児童の姿)

自分と友達の考えを比べながら、根拠をもって様々な解決方法を考えて「クリーン作戦」を立てている。

②子供の活動の様子を学習支援ソフトで共有する

- * 他者参照ができ、友達の考えを知ることができる。
 - * 悩む子供にとって、学びのヒントとなる。



まずは同じ掃除場所を選んだ友達の考えを見たり聞いたりしてみよう！



③交流から自分のクリーン作戦を振り返る

- *自分では気付けなかった視点に気付き、改めて自分の作戦を見直し、次へつなげることができる。

■成果（○）と課題（△）

- 導入の際に「実際に掃除をする」という目的を確認をしたことで、より自分事として考えることができた。
 - 友達との交流を通して、自分にはなかった視点に気付き、付け足しをする子供や深く質問する子供の様子が見られた。
 - ▲子供同士のやり取りの場面がもう少しあると、更に考えが深まった。



← (次時に作戦を実行した様子)

【活用したアプリや機能】ミライシード（オクリンクプラス）